

第 21 回 MBI（マルチメディアを利用した教育）研究発表会プログラム

日 時：平成 30 年 10 月 20 日（土）13：00～16：10
場 所：総合教育研究棟 1F 8111 講義室

開会の辞

13：00～13：10 明治薬科大学 学長 石井 啓太郎

座長：石橋 芳雄

1. 演題 1 小中高等学校の情報教育の変革と明治薬科大学の情報教育

13：10～13：35 明治薬科大学 数理科学部門／生命情報科学 野口 保

要 旨 第 3 次 AI ブームの影響もあり、2020 年度から小学校でのプログラミング教育の必修化が決定し、2022 年度から高等学校ではプログラミングを含む「情報 I」が必修科目となる。既に小中高等学校の情報教育が浸透し、既にパソコン未経験の新入生は数名になり、7 割以上が Microsoft Office を使った文書作成、表計算やプレゼンテーションを経験している。このような状況から本学の情報教育も、変革の必要性に迫られている。本発表では、最近の状況変化に対応した取り組みについて紹介する。

2. 演題 2 計算機を用いた薬科学総合実習

13：35～14：00 明治薬科大学 数理科学部門／生命情報科学 杉原 稔

要 旨 本学のほとんどの学生が使用している windows でどこまで分子シミュレーションが実行できるかを、生命創薬科学科「薬科学総合実習」で試みたので報告する。実習では、たんぱく質の可視化、多分子の分子力場 (force field) による最適化計算、量子化学計算、ペプチドの古典的分子動力学計算などを行った。当日は、実際に実習で使っているソフトの紹介と簡単なデモを行う予定である。

3. 演題 3 情報拠点としての図書館を考える

-日本薬学図書館協議会研究集会の討議を振り返って-

14：00～14：25 丸善雄松堂株式会社 島貫 裕美子

要 旨 平成 30 年 8 月 24 日に岡山県 就実大学にて行われた日本薬学図書館協議会研究集会の報告と本学の図書館利用の現状について紹介する。

<< 休憩 14:25~14:35 >>

座長：三田 充男

4. 演題4 ラーニングコモンズの動向と課題	
14:35~15:00	丸善雄松堂株式会社 飯田 健司
要旨	日本にラーニング・コモンズが導入された経緯と課題について発表する。 アメリカと日本におけるラーニング・コモンズの成り立ちの違いについて確認し、現在設置されている日本のラーニング・コモンズが抱える課題について共有する。
5. 演題5 アクティブラーニングと ICT を活用した新たな学びの場	
15:00~16:00	獨協医科大学 基本医学 情報教育部門 坂田 信裕
要旨	高等教育におけるパラダイムシフトが進む中、教室デザインの見直しや、ラーニング・コモンズの設置による学びの場の環境整備も必要である。また、その環境では、無線 LAN や LMS (学習管理システム) 等の ICT (情報通信技術) を利用する事を前提としたデザインであることも大きなポイントとなる。ICT 活用により、自由度の高い学びの場となり、学生が自ら能動的に学ぶアクティブラーニングを進める上でも重要となる。
講 評	
16:00~16:10	教務委員長 三田 充男

<< 企業展示セッション&情報交換会 16:10~17:30 >>

総合教育研究棟フロネシス 2Fラウンジ